



コロナワクチン

こうせいろうどうしょう およ ほんかいどう
厚生労働省及び北海道の
じょうほう じょうほう つく
情報をもとに作りました。

新型^{しん がた}コロナワクチン^{せつ しゅ}接種^う※を受けたい人^{ひと}へ

※接種^{せつしゅ}：ワクチン^{ちゅうしゃ}の注射^うを受けること

むりょう えん しんがた せつしゅ はじ せつしゅ ついか せつしゅ りょうほう
無料（0円）の新型^{しんがた}コロナワクチン^{せつしゅ}接種^うは、初めての接種^{はじ}、追加^{せつしゅ}の接種^{ついか}の両方^{りょうほう}が

ねん れい わ ねん がつ にち お
2024年（令和6年）3月31日で終わります。

せつしゅ う ひと はや う
ワクチン^{せつしゅ}接種^うを受けたい人^{ひと}は、早め^{はや}に受けてください。

ねん れいわ ねん がついつち しんがた せつしゅ つぎ
2024年（令和6年）4月1日からの新型^{しんがた}コロナワクチン^{せつしゅ}接種^うは次のようになります。

- 「65歳以上^{さいいじょう}の人^{ひと}」と「★60～64歳^{さい}で対象^{たいしょう}となる人^{ひと}」には、秋^{あき}と冬^{ふゆ}にまち（市町村^{しちょうそん}）による定期^{ていきせつしゅ}接種^うを受けることができます。
 - 定期^{ていきせつしゅ}接種^うを受けない人^{ひと}で、接種^{せつしゅ}を受けたい人^{ひと}は、いつでも自分^{じぶん}でお金^{かね}を払^{はら}って受けることができます。
- ★60～64歳^{さい}で、①心臓^{しんぞう}、腎臓^{じんぞう}または呼吸器^{こきゅうき}の機能^{きのう}に障害^{しょうがい}があって、生活^{せいかつ}がすぐ制限^{せいげん}される人^{ひと}、②ヒト免疫不全^{めんえきふぜん}ウイルス（HIV）による免疫^{めんえき}の機能^{きのう}の障害^{しょうがい}があって、毎日^{まいにち}の生活^{せいかつ}がほとんどできない人^{ひと}

だれが受けられますか？



- 生まれ^うて6ヶ月^{か げつ い じょう}以上^うで、ワクチン^うを受けたい全^{すべ}ての人^{ひと}が受けられます。
- 追加^{ついか}接種^{せつしゅ}は1人^{ひと}1回^{かい}受けられます。
- 追加^{ついか}接種^{せつしゅ}を受ける人^{ひと}は、前^{ぜん}回の接種^{かい}から3ヶ月^{か げつ い じょう}以上^うがたっていることを確認^{かくにん}してください。

どのワクチンを受けられますか？

たけ だ しゃ ねん がつ にち お
※武田社^{たけ だ しゃ}（ノバボックス）のワクチン^{ねん がつ にち お}は、2023年^{ねん}12月^{がつ}25日^{にち}で終わりました。



	初めての接種 ^{はじ せつしゅ}		追加 ^{ついか} の接種 ^{せつしゅ}		
	モデルナ社 ^{しゃ} [XBB.1.5]	ファイザー社 ^{しゃ} [XBB.1.5]	モデルナ社 ^{しゃ} [XBB.1.5]	ファイザー社 ^{しゃ} [XBB.1.5]	第一三共社 ^{だいいちさんきょうしゃ} [XBB.1.5]
6ヶ月 ^{か げつ} ～4歳 ^{さい}	○ (5歳 ^{さい} まで)	○	—	○	—
5～11歳 ^{さい}	○ (6歳 ^{さいいじょう} 以上)	○	○ (6歳 ^{さいいじょう} 以上)	○	—
12歳 ^{さいいじょう} 以上	○	○	○	○	○

どこでワクチンを受けられますか？

じゅうしょ どうろく しちょうそん びょういん せつしゅかいじょう う す しちょうそん
住所^{じゅうしょ}を登録^{どうろく}しているまち（市町村^{しちょうそん}）の病院^{びょういん}や接種^{せつしゅ}会場^{かいじょう}で受けられます。住^すんでいるまち（市町村^{しちょうそん}）の
ホームページ^{こうほうし}や広報誌^{かくにん}などで確認^{かくにん}してください。また、厚生労働省^{こうせいろうどうしょう}の「コロナワクチンナビ」※で情報^{じょうほう}が
みえるまち（市町村^{しちょうそん}）もあります。



※日本語^{にほんご}、やさしい日本語^{にほんご}、英語^{えいご}と中国語^{ちゅうごくご}（簡体字^{かんたいじ}・繁体字^{はんたいじ}）で使えます。

<https://v-sys.mhlw.go.jp/>

いくらですか？

むりょう
無料^{むりょう}（0円）です。



最後にワクチンを受けてから、引っ越した人へ

引っ越したまち（市町村）の役場が「ワクチン接種記録システム（VRS）」でワクチンを受けたかどうかを確認します。最後に受けてから3ヶ月が過ぎたら、接種券が家に届きます。



接種券が家に届かない時は、発行の申請をしてください。
（※接種券を送る時期は住んでいるまち（市町村）によって違います。）

厚生労働省の「コロナワクチンナビ」で接種券の発行の申請ができるまち（市町村）もあります。



※日本語、やさしい日本語と英語で使えます。

※住んでいるまち（市町村）が「コロナワクチンナビ」で受付していない場合は、役場に聞いてください。

<https://v-sys.mhlw.go.jp/application/3rd-inoculation.html>

海外で最後にワクチンを受けた人へ

住んでいるまち（市町村）の役場から接種券は届きません。接種券をもらうために、住んでいるまち（市町村）の役場に発行を申請してください。



原則、3つの書類が必要です：

- ・申請書（住んでいるまち（市町村）のもの）
- ・本人が確認できる書類のコピー（運転免許証、健康保険証など）
- ・海外でワクチンを受けたことが分かるもの

なお、住んでいるまち（市町村）によって必要な書類などが違います。必ず確認してください。

外国語のコロナワクチンの案内

厚生労働省のホームページに外国語のコロナワクチンについての情報があります。



内容：

- ・予診票（ワクチンを受けるために応える質問）
- ・ワクチン接種の説明書
- ・接種のお知らせの例
- ・12～15歳の子供の保護者の人へ
- ・5歳から11歳の子供の保護者の人へ
- ・コロナワクチンを受けた後に副反応がでた時

言語：

やさしい日本語、英語、ベトナム語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タガログ語、タイ語、インドネシア語、ミャンマー語、ロシア語など、18の言語。



https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_tagengo.html

相談・問い合わせ

厚生労働省 新型コロナワクチンコールセンター



国内から電話する場合 0120-761-770 (フリーダイヤル)

海外から電話する場合 +81 50-3734-0348 (通話料がかかります)

電話できる時間：（土曜日、日曜日・祝日も電話できます。）

日本語・英語・中国語・韓国語	9:00 - 21:00	タイ語	9:00 - 18:00	ベトナム語	10:00 - 19:00
ポルトガル語・スペイン語					